

- 手洗い・うがいを丁寧に行う幼児と、そうでない幼児がいる。
- それぞれの行動に意味があることを理解している幼児もいるが、そうでない幼児もいる。
- 手洗い、うがいが感染予防につながることを知ってほしい。
- 口の中をすすぐことと、喉の奥をすすぐことの違いを知ってほしい。
- 手洗いとうがいの手順やその方法を身に付けてほしい。
- 友だちと一緒に丁寧にやる方法を教えあったり、身につくことで自信をもって取り組んだりしてほしい。

活動名	手洗い・うがいをする
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◎手洗い，うがいの大切さに気付く。 ◎手洗い，うがいの正しいやり方を知り，ていねいにまねしようとする
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆絵本やイラストなどを使い，手や喉には，ばい菌がいることを分かりやすく知らせる。 ◆手洗いやうがいのやり方や流れが分かるよう，イラストや写真を使って知らせ，それを見ながらできるように掲示しておく。 ◆楽しく様々な部位の手洗いができるように，歌や音楽を活用していく
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇手洗いの必要性に気づけるよう，手にばい菌がついているイラストを見せたり，絵本を見せたりする。 ◇手洗い，うがいは何のためにするのか気づけるよう，幼児と一緒に考え，その大切さに気づけるようにする。 ◇保育者が手洗い，うがいのやり方を実際にやって見せる。 ◇手洗い，うがいの絵や写真を見たり，音楽を聞いたりして，進んで取り組めるようにする。 ◇うがいは用途によって2種類があることが分かるよう，使い方と理由を知らせていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

1 健康な心と体 2 自立心 9 言葉による伝え合い

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

○日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや，事件や事故，災害等から身を守り安全に行動すること。

環境を生かした幼児の活動

<手洗いの仕方>

0・1・2歳児

○手を洗う習慣を身に付ける。(先生と一緒に)

水道周りの環境
常に清潔に、水をこぼしても大丈夫なように、近くに雑巾を準備する

3歳児

○手を洗う習慣を身に付ける。

○音楽、歌に合わせて行う。写真表示も活用する。

(園で使用しているペーパータオルで手を拭く)



写真表示を見ながら洗う。

4・5歳児

○丁寧に洗う方法が分かり、習慣になる。

○水の適度な出し方を知る。

○手洗い後、自分のハンカチで拭くこともできる。

(体の発達上、4、5歳児から自分のハンカチを使用する)



水の適度な出し方を知る表示を使用する。
(指の太さと同じくらいに水を出す)

<うがいの仕方>

体の発達上、2歳児から行う。

2・3歳児

○ガラガラうがいの仕方を知る。



ガラガラうがいの仕方を知る際は・・・
上を向いてガラガラうがいができるように、天井に貼ったマークを見てうがいをする。うがいのやり方を知る。

<天井、子どもの目線にマーク>

○ブクブクうがいの仕方を知る。(歯磨き同様)

4・5歳児

○2種類のうがいの仕方が分かっている。

○うがいの定着。



- なぜ歯磨きが必要なのか理解できている幼児と、できていない幼児がいる。
- しっかり歯を磨ける幼児とうまく磨けない幼児がいる。
- 保育者を見て真似て磨こうとする。
- 口腔ケアの大切さを理解してほしい。
- 虫歯と歯磨きの関係を理解し、自分から進んで取り組むようになってほしい。

活 動 名	歯磨きをしよう
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ◎歯を大切にしようとする気持ちをもつ。 ◎歯を清潔にする習慣を身に付ける。
◆ 環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の歯について考えるきっかけになるように、歯科検診や虫歯予防デーなどの機会を逃さず活かしていく。 ◆歯磨きの大切さや必要性が分かるような絵本やシアターなどを用意する。 ◆歯の部位ごと（上, 前, 裏）の磨き方が分かるように、手順表を用意する。また、歯の模型やイラストなどを用意して知らせる。 ◆用意した歯磨きの音楽に合わせてたり、保育者の真似をしたりして、しっかり磨くことができるようにする。 ◆歯ブラシの持ち方や歯ブラシの毛が広がっていないか確認する。
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇なぜ歯磨きをする必要があるのかを一緒に考え、気づくことができるようにする。 ◇歯磨きを朝, 昼, 夜行っているか, 歯磨きは自分でしなければいけないと分かっているか, 確認する。 ◇どのように磨くと歯の汚れが落ちるのか, どこに汚れが残りやすいのかなどを知らせていく。 ◇保育者が一緒に磨きながら, 磨き方や歯ブラシの持ち方などを確認する。 ◇口のゆすぎ方や歯ブラシの洗い方を知らせる。

幼児教育を通して育まれた10の姿

1 健康な心と体 2 自立心 6 思考力の芽生え

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

○日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

環境を生かした幼児の活動

○歯磨きをする理由を考える。

- ・虫歯にならないようにするため。
- ・歯をきれいにするため。

○自分の歯磨きについて振り返る。

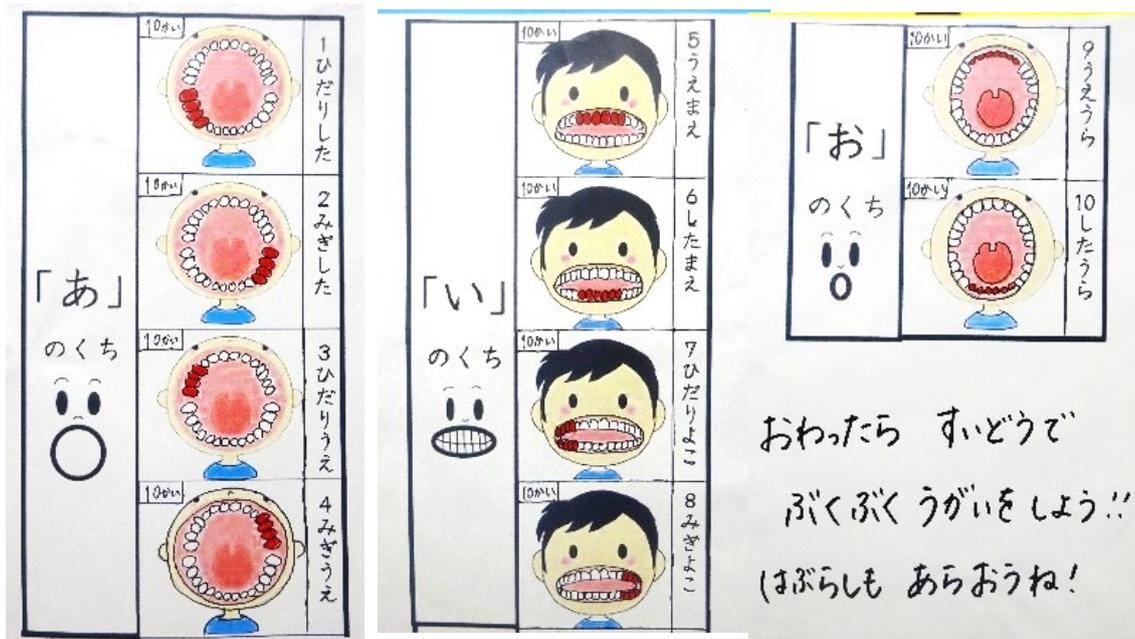
- ・朝、昼、夜歯磨きをしているか。
- ・自分でしっかり磨いているか。
- ・仕上げ磨きをしてもらっているか。



○歯磨きの仕方や歯ブラシの持ち方を確認する。

- ・すべての歯にブラシが当たると良い。
 - ・歯の裏側も気を付けて磨くと良い。
- (手順表や模型を活用する)

上手に磨けるよ！



先生の真似をして磨いてみよう！

○実際に磨いてみる。

○口をゆすぐ。(ぐちゅぐちゅ、ブクブクうがいの仕方)

○毎日の歯磨きで、磨き方を確認しながら丁寧に歯を磨く。(歯を大切に作る。)

- 和式トイレの使い方を知らない幼児が多い。
- トイレの使い方のマナーを知っている幼児と、そうでない幼児がいる。
- 和式トイレの使い方も知ってほしい。
- 清潔なトイレ(みんなが気持ちの良い場所)になるように使い方を知ってほしい。

活動名	排泄の仕方を身に付けよう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◎排泄後の始末が、自分でできるようになる。 ◎トイレをきれいに使おうとする。
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆上靴や、スリッパの置く場所が分かるように、目印を貼る。 ◆トイレの使い方の絵表示を貼る。(トイレットペーパーの長さが分かるようにする、和式トイレの使い方を知らせるなど。)
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇きれいなトイレの使い方について、みんなで考える機会をもつ。(脱いだ上靴やスリッパを揃えるなど、何のための行動なのか約束の確認をする。) ◇男児は立ち小便器を使えるように、立ち位置や、ズボンのおろす位置を知らせていく。 ◇女児は、尿・便共に前から後ろに向かって拭くように伝え、徐々に自分でできるように見守る。 ◇トイレットペーパーの使い方や長さが分かるように、個室に絵カードなどで分かりやすく掲示しておく。 ◇排泄後の手洗いの大切さに気づかせていく。 ◇大便是、朝済ませてくれることが良いことを保護者にも知らせる。 ◇小学校では、休み時間を利用して排泄を済ませておくこと、大便をしたいときは我慢せずに声に出して知らせることなどを伝え、小学校生活に安心感を与えていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 1 健康な心と体 2 自立心 4 道徳性・規範意識の芽生え
- 8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ア 基本的な生活習慣の形成
 - 身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。
- ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
 - 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

環境を生かした幼児の活動

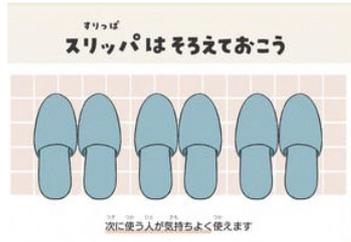
○トイレのマナーを知る

- ・ハートマークを目安にノックをする。(ノックする場所が分かる)
- ・はいっています,あいています の表示を見てトイレに入る。
(自分で表示を裏返しにして、トイレに入る)



○スリッパへの履き替え

- ・整えられるように足型を使用する。



○トイレットペーパーのちぎり方を知る

- ・和式、洋式関係なく、ペーパーのちぎり方の目安を知る。
- ・3歳児頃までは、ちぎってあるペーパーを使用する。



とれつとペーぱーの ちぎりかた



○和式トイレの使い方

- ・足型を目印に安心してできるようにする。
- ・経験のない子も多いので、やり方を教えていく。(遊びの中でしゃがむ経験をする)



○男子トイレの使い方

- ・年齢に応じてズボンの下げ方も知らせる。(お尻が出ない下げ方)



- 衣服の着脱に興味をもち、自分でやろうとするが、うまくできず保育者に助けを求める幼児がいる。
- 後前を間違えて着たり、裏返しに着たりする子がいる。

- 意識して手順良く着脱できるようになってほしい。
- 衣服の乱れに気づいて直したり、整えたりするようになってほしい。また、気温等に合わせて衣服の調整等もできるようにしてほしい。

活動名	衣服の着脱をしよう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分で着脱できるようになる。 ◎身だしなみを整えるようになる。
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆着替えの時間やスペースを十分に確保する。 ◆着脱の手順が分かるよう、写真やイラストなどを掲示する。 ◆着脱につながる遊びとして、着せ替え人形、クッションスナップ、ボタン留め、着衣枠など着せ替えられる簡単な衣服を用意し、楽しく遊びながら身につくようにしていく。(抱き人形、パンツ、ベスト、エプロン等)
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇衣服の乱れや身だしなみに気を付ける習慣が身につくように、鏡を準備する。 ◇年齢が低くても保育士が一方的に着替えさせるのではなく、「今から着替えるよ」「どっちが着たい？」等と声をかけ、子どもに見通しをもたせたり、着たい服を自分で選べるようにしたりして、着脱への意識と意欲が芽生えるよう丁寧に関わっていく。 ◇自分でしようとする気持ちを大切に見守り、できない時はそっと手を添えて着方を知らせ「できた！」という喜びや満足感が味わえるようにする

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 1 健康な心と体 2 自立心
- 6 思考の芽生え 9 言葉による伝え合い

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

○日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 基本的な生活習慣の形成

身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

環境を生かした幼児の活動

○衣服に興味を持つ。

- ・いろいろな布の素材に触れ、違いを感じる。
- ・友達と服の見せ合いっこをする。
- ・ごっこ遊び用の衣服やエプロンなどを着用して楽しむ。



○着脱につながる遊びをする。

- ・着せ替え人形を使って脱がせたり、着せたりする。
- ・クッションスナップまたは、マジックテープを使って遊ぶ。
- ・ボタン留めをする。
- ・裏返し、表替えし遊びをする。



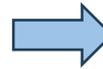
ボタン留めとスナップ留め遊び



ぞうとぶたの裏返し遊び

○自分で着脱をしようとする

- ・時間をかけてでも、自分で最後まで着ようとする。
- ・一人で着脱する。(どこをもって引き入れるか、引き上げるかなどが分かってくる。)
- ・前身ごろを下にして置いたり、前身ごろを向こうにして持ったり前後を間違えないようにしたりする。
- ・小さなスナップボタンを留めたり外したりする



○生活に合わせた着脱の大切さや気持ちの良さを知る。

- ・鏡を見たり声がけされることで衣服の乱れや汚れに気付くと、自分で着替えたり、整えようとしたりする。
- ・気温や体温に合わせて、自分で衣服の調節をする。
- ・活動に合わせて衣服の着脱をする。
- ・清潔な服を着たりお気に入りの衣服を着たりして、気持ち良さや心地良さを感じる。

- 服の畳み方がよくわからない幼児がいる。
- すすんで丁寧に服を畳もうとする様子も見られるが、脱いだ服を裏返さず、畳まないで着替え袋に入れてしまう様子もみられる。
- 丁寧に畳むことで、袋に入れるときに入れやすくなることを知ってほしい。
- 友だちの姿を見たり手順の絵を見たりしながら、進んで畳み方を意識するようになってほしい。

活動名	服の畳み方・入れ方を確認しよう！
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◎服の畳み方や、しまい方について知る。 ◎表示や写真を見ながら、服の畳み方を確認し、自分で意識できるようになる。
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆服の畳み方を写真やイラストなどで掲示し、子どもたちが目で見て分かりやすいようにする。 ◆きれいに畳まれた服と畳まれていない服を見せ、どちらが良いか考えられるようにする。 ◆服の畳み方の手順を知らせながら、保育者が実際に畳んで見せる。 ◆パジャマ袋の中を見て、自分のパジャマの畳み方を確認したり、友達と見比べたりする中で、服の畳み方を意識できるようにする。
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇パジャマに着替える時、服が汚れた時、身体測定の時など着脱の機会を捉え、服の畳み方を意識できるように声がけしていく。 ◇着替えの様子を見守り、きれいに服を畳めた姿を認め、「自分からやってみたい」と思えるように関わっていく。 ◇定期的に衣服の畳み方を確認したり、着替え袋を一緒に確認したりしながら、きれいに入れる習慣が身に付くようにしていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 1 健康な心と体 2 自立心

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ア 基本的な生活習慣の形成
 - 身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

環境を生かした幼児の活動

きれいに畳めるかな？やってみよう！

○畳み方をわかりやすく知らせる

- ・服の畳み方が分かるように、上,ズボンに分けてイラストを掲示する。
- ・保育者が実際に畳んで見せる。



○脱いだ服を畳む

- ・イラストを見ながら自分で畳む。
- ・服の裏返しなどを自分で直す。
- ・保育者に畳み方を確認する。
- ・子ども同士で畳んだ服を見せ合ったり、保育者にきれいに畳めたことを知らせたりする。

ぼくもやってみよう！



○畳んだ服を袋に入れる

- ・畳んだ服を入れてみる。
- ・形が崩れないように袋に入れてみる。

きれいにいれよう！



- 身支度後の衣類が整理されていないロッカーが見られる。
- 活動後のロッカーの中が乱れていたまま放置されているケースがある。
- 整理されていると物が探しやすく、見た目にきれいなことを知ってほしい。
- 衣類が畳まれていると、必要な衣服がすぐに見つけられることを知ってほしい。
- 友だちのロッカーを見て、きれいな方が気持ちよい感覚を持ってほしい。
- 使ったものを元に戻すことが物を無くさない、整理整頓ができるということに気づくようになってほしい。

活動名	ロッカーの整理をしよう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◎整理整頓の仕方を知る。 ◎ロッカーを整理すると気持ちがよい事に気づき、整理整頓しようとする。
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆物をきれいに整えて入れている写真と、物がきちんと入っていない写真を見せ、どちらが良いか考えられるようにする。 ◆写真や絵などで見本を表示して、物の置き場所が分かるようにしていく。(カバンや帽子等の置き場所も含む。)
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇クラスの集まり時に、ロッカーの使い方について、みんなで話し合う。 ◇ロッカーの整理整頓の仕方について子どもたちが気づいたことを受け止め、みんなで話し合えるよう仲立ちしていく。 ◇どんな入れ方なら、見やすく使いやすいか、また使った物を元に戻す事の大切さに気づけるように、一緒に考えていく。 ◇自分の持ち物が定位置に収まっているか…など、物の丁寧な置き方にも気づけるように声がけしていく。 ◇片づけたロッカーを見て、使いやすい、持ち物が分かりやすいことに気づけるよう声がけし、気持ち良さを感じられるようにする。 ◇片づけを行った後も、日々整理整頓する様子を見守り、必要に応じて声がけを行っていく。 ◇みんなが使う共通の場所も整理整頓しようとする意識を高めていく。 ◇次に使う人のことも考え、整理整頓して片づけようとする意識を高めていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 1 健康な心と体 2 自立心 4 道徳性・規範意識の芽生え

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

○日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 基本的な生活習慣の形成

身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

環境を生かした幼児の活動

◎整理整頓した道具箱と共有の棚・着替えのカゴの写真を提示する。



○クラスでロッカーの使い方について話し合う。

みんなで気持ちよく
過ごすにはどうした
らいいかな？



きれいに整理整頓
されていると気持
ちがいいね

「きれいかな？」
パトロールしよう！



みんなで
きれいにしよう

○自分のロッカーの中はどんなになっているのか持ち物を見直す。
○自分のロッカーを整理して片付ける。



脱いだ服は
畳んで入れ
よう

ゴミが落ちてい
る！
そうじしよう！



*道具棚・おもちゃ棚
本棚などの整理整頓
をする。

*身近に掃除セットを置いておくこと
で、ゴミに気付いた子が自主的に掃除
をしてくれる姿が見られるようになった。

- 靴の履き方,脱ぎ方,揃え方が身についている幼児がいる。
- 一方で, 適当に履いて遊んでいる幼児がいる。
- 気分次第で, 適当に靴の脱着をしている幼児の姿がある。
- 声がけされるとしっかり脱着できる幼児が多い。
- けがや事故につながらないように, しっかり履くことが大切なことを理解してほしい。
- 安全に生活や遊びをするためには, サイズの合った靴を履くことが必要なことを理解してほしい。

活動名	靴の履き方・脱ぎ方・揃え方
ねらい	◎靴の正しい履き方, 脱ぎ方, 揃え方を知る。
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆靴の置き方の表示を出しておく。 ◆靴の取り出しやすい置き場を考えるようにする。 ◆正しい靴の履き方, 脱ぎ方, 揃え方に気づけるような絵表示を用意する。
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇かかとを踏まず, 正しく履いているかを確認する。 ◇左右の履き間違いがないか, 確かめる。 ◇立って靴を履く意識をもてるようにする。 ◇かかとを踏んだり, 左右を履き間違えたりした場合, どうしたらよいかを考えていくようにし, 安全面に気づけるようにする。 ◇外靴を, 脱ぐ際に, 靴底に付いた土・砂などを払うことや, マジックテープをはがすなど, 脱ぎやすくしてから靴を脱ぐことなど知らせる。 ◇みんなと確認すると共に, 毎回揃えて靴箱に入れることを意識できるようにする。

幼児教育を通して育まれた10の姿

2 自立心 6 思考力の芽生え

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ア 基本的な生活習慣の形成
 - 身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け, 節度ある生活にすること。

環境を生かした幼児の活動

〈靴の履き方〉

○自分の靴を履く。

- ・靴を静かに地面に揃えて置く。
- ・靴のかかとを指で押さえ、足のかかとをしっかりと靴の中に入れる。
- ・両足きちんと履いてから歩き出す。

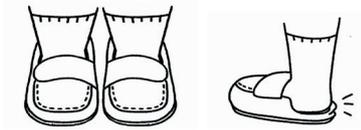
○靴の履き方はどうかを見る。

- ・立って靴を履くことが難しい子やバランスがとりにくい子には、壁や台に手を付く場所を設ける。

○かかとを踏んだり、左右を履き間違えたりしてはいけないのはなぜかを考える。



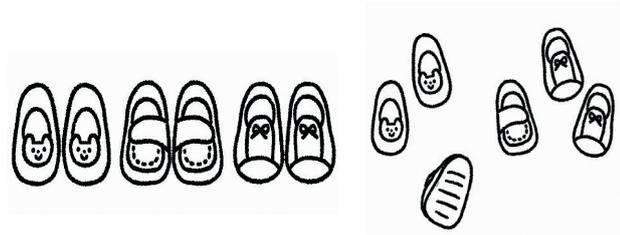
どっちの履き方がいいかな？



靴を揃える



どっちの揃え方がいいかな？



〈靴の揃え方〉

○靴がどうなっているか見に行く。

○どういう置き方がふさわしいかを考える。

- ・かかとを揃えて置くことに気づく。

○乱れていたなら並べ、年下の子の見本になるようにする。

スリッパはどう並べたらいいかな？



- 朝や帰りに、すれ違ってもそのまま通り過ぎてしまう幼児がいる。
- 挨拶が必要な時に、適切な言葉が出てこない姿が見られる。
- 気持ちよく挨拶できるようになってほしい。
- 必要などころで適切な挨拶ができるようになってほしい。

活 動 名	あいさつをしよう
ね ら い	◎気持ちの良い挨拶の仕方を知る。 ◎時間によって挨拶が変わる事に気づく。
◆ 環境構成	◆保育者と幼児一人一人が、顔を合わせる事ができるように対面に立つ。 ◆友達の挨拶する姿を見たり、見せたりしてみる機会を持つ。
◇保育者の 配慮・援助	◇しっかり一人一人の目を見て、元気な声で挨拶をする。 ◇朝、起きてから、家の人に挨拶をしたかを確認する。 ◇みんなで挨拶するだけではなく、個人対個人でするものでもあることに気づかせる。 ◇最初は保育者がやって見せる。 1, 正面を向いて 2, 止まって 3, 相手の目を見て 4, 「おはようございます。」と言ってから腰から礼をする。 ◇一つ一つ確認しながら行うようにする。 ◇一日を通し、時間や場所、場合によって挨拶が変わることに気づかせる。 (おはようございます・こんにちは・こんばんは・さようなら・おやすみなさい・いただき ます・ごちそうさま…など) ◇日常的に挨拶の習慣化を図っていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

2 自立心 4 道徳性・規範意識の芽生え 5 社会生活との関わり

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ア 基本的な生活習慣の形成
 身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

環境を生かした幼児の活動

① 朝の挨拶をする。「おはようございます。」

【登園時の様子】 出会った先生と挨拶をする。

◎立ち止まって相手の顔を見ながら
名前を呼んで挨拶を行う。

〇〇君
おはようございます



△△先生
おはよう
ございます

②今朝、どの場面でこの挨拶をしたのか、 考える。

③基本的な仕方では挨拶をする。

朝は、どんな挨拶が
いいかな？

- *集まりの中で、子どもたちと話したり、
実際に目の前で言ったりしてみる。
- *朝と日中の挨拶や夕方の
挨拶の違いを知っていく。



「おはようございます」って挨拶で
きたよ

④実際に友達同士で挨拶してみる。

◇◇ちゃん
さようなら



〇〇君
また明日ね

⑤他にはどんな挨拶があるのか考える。

【子どもたちから出た挨拶の種類】

- ・朝は「おはようございます」
- ・10:00を過ぎたら「こんにちは」
- ・給食を食べる時「いただきます」
- ・帰る時「さようなら」
- ・夜は「こんばんは」など…
- ・寝る時「おやすみなさい」



- 正しい箸の持ち方を知らない幼児がいる。
- 箸をうまく使えない幼児がいる。
- 友だちの正しい箸の持ち方を見ながら一緒に食べることで、自然に持ち方を意識するようになってほしい。
- 正しい箸の使い方を楽しんでほしい。

活動名	箸を正しく持って使ってみよう
ねらい	◎箸の正しい持ち方や使い方を知る。
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆箸の持ち方のイラストや、ポスターを掲示する。 ◆箸の持ち方の練習を試みる。 <ul style="list-style-type: none"> ・つかみやすいスポンジ、ひも、デコレーションボールなど柔らかい素材の物や、取り分けられる皿などを用意する。 ・持ち方が安定し、上手につかめるようになってきたら、豆やマカロニなど硬い素材のものを用意する。
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇箸を正しく持つときれいに食べられることを知らせる。 ◇箸の長さや細さに慣れていけるよう、まずは、1本で持つよう知らせる。 ◇箸を挟んでいる人差し指と中指を動かすなど、具体的に知らせる。 ◇一人一人できているか確認し、保育者が手本を見せたり、間違っている時は手を添え直したりして感覚をつかめるようにする。 ◇箸でつかみやすいように柔らかな物から挑戦し、慣れたら豆のようなつかみにくい物にも挑戦できるようにする。 ◇途中で落としてしまう子には、親指、人差し指、中指で箸を持っているか、力の入り具合はどうかなど、確認するように声掛けする。 ◇家庭と連携して進めていけるよう、正しい箸の持ち方の手順やイラストを描いた便りを保護者に配布する。

幼児教育を通して育まれた10の姿



小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ア 基本的な生活習慣の形成
 - 身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

環境を生かした幼児の活動

- スプーンやフォークの持ち方を知る。
- ・箸を持つ前にスプーン、フォークが正しく持てるようになってから、箸に移行する。(2歳児頃から)



○箸の持ち方を知らせる。

- ・持ち方の提示は、食事をする前に短時間で行う。食事中に訂正をすると、食事を楽しめなくなるため、確認程度に行う。



○あけ移しの遊びをする(箸へ移行する段階遊び)

- ・あそびの中でも箸の経験ができるように準備をする。
- 1, スプーン 2, トング 3, 補助付き箸 4, 箸

段階で、あけうつしの遊びを進めていく。子どもの育ちによって段階を見極めていく。



○箸の動かし方を知る遊び



ケンパーシートを活用し、箸の使い方を知る。

箸への移行の際は、ビーズ付きの箸も使いやすい。



- 食事のマナーを意識している幼児がいる。一方で、おしゃべりに夢中になったり、食べこぼしが多く、ティッシュを取りに何度も立ち歩いたりする子もいる。
- マナーを意識しながら、友だちと一緒に食事を楽しんでほしい。
- 絵や写真で繰り返し知らせることで、自然と身につくようになってほしい。

活動名	食事のマナーを覚えよう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◎食事のマナーが分かり、楽しく食事をする。 ◎正しい姿勢で、落ち着いて食事をしようとする。
◆環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆正しいご飯や汁物、副食の配置を掲示しておく。 ◆正しい座り方のイラストや、食品三大栄養素のポスターなどを掲示しておく。 ◆食事中、テーブルが汚れたり食べ物を落としたりした時は、自分で拭いたり拾ったりできるよう、テーブル拭きや雑巾を決まった場所に用意しておく。
◇保育者の配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇食事のマナーについて、保育者同士で確認し合う。 ◇マナーを守りながら食べることの必要性や気持ち良さを知らせる。 ◇食事の時間を振り返りながら、マナーについて知らせていく。 ◇言葉だけで知らせるのではなく、自分の目で姿勢を確認できる機会を設けていく。 ◇一人一人の座り方を確認し、手を添えて知らせるなどの働きかけをする。 ◇箸の持ち方、食器の扱い方、姿勢等、一人一人の様子について把握し丁寧に知らせていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 1 健康な心と体 2 自立心 4 道徳性・規範意識の芽生え

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
 - 給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

環境を生かした幼児の活動

○食事のマナーや姿勢について意見を出し合う。

- ・挨拶をする。 ・大声を出したり、歌ったりしない。
- ・立ち歩かない。
- ・正しい箸（スプーン）の持ち方、食器の配置を知る。

〈保育室の壁に掲示物〉



○椅子の座り方や姿勢について見直す。

- ・絵や写真の正しい姿勢と見比べたり、近くの友だちや保育者と座り方を確認したりする。



○正しく座る。

- ・椅子の奥に腰を下ろす。
- ・足を前にして足裏を床につけ背中を伸ばす。
- ・机と体の間に、にぎりこぶし1～2個分あけて手は膝の上に置く。

○正しい箸の持ち方や姿勢を意識する。

- ・保育者に声掛けされると皿やお椀を持って食べるなど意識しながら食事をする。
- ・時々、掲示物を見て自分でも意識する。

ゲーの手が入ったぞ！

○食べ終わったらどうするか。

- ・隣の子同士で口の周りを確認し合い鏡で自分の顔に汚れが付いていないか見る。
- ・口の周りや手、テーブルなどが汚れていないか確認し、きれいにする。

箸でしっかりつまめるよ！



- 〈早寝・早起き・朝ごはん〉の生活リズムで過ごすことができている幼児と、就寝が遅くなり、朝なかなか起きられない幼児がいる。
- 午前中は調子が出ず、ボーっとしている幼児がいる。
- 生活リズムが整うと、元気いっぱい遊べること、病気になりにくい体になることを理解するようになってほしい。
- 夜更かしや朝食抜きの影響を理解して、自分から早寝早起き朝ご飯を考えるようになってほしい。

活動名	生活リズムを整えよう
ねらい	◎生活の中で時間が分かり、生活リズムの大切さを知る。 (早寝・早起き・朝ごはん) ◎生活リズムを意識して、過ごそうとする。
◆環境構成	◆早寝・早起き・朝ごはん(睡眠、食事)の大切さを示す絵カードや絵本などを用意しておき、生活リズムを整えることの大げさに気づけるようにする。 (就寝→起床→朝食…元気に過ごせる。) ◆生活リズムについて保護者とも情報を共有、園と家庭とが一緒に進めていけるようにする。
◇保育者の配慮・援助	◇絵カードや写真などを活用し、「早寝・早起き・朝ごはん」がしっかりできているか、どんな効果があるかなどを幼児と一緒に考えていく。 ◇十分な睡眠時間がなぜ必要なのかを知らせ、寝る時間や起きる時間を意識できるようにする。(睡眠や体を休養させることで元気を取り戻したり、身体の成長を促したりすることができる。) ◇なぜ食事が大切なのかを知らせ、しっかり食事をとることや様々な食材を食べられるようにしていく。 (朝ごはん) 1日の始まりで元気の素を作る。 (昼ごはん) 午前中活動し、午後に向けての活力を得る。 (夜ごはん) 1日の疲れを栄養で補い、次の日への活力となる。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 1健康な心と体 2自立心 4道徳性・規範意識の芽生え

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

環境を生かした幼児の活動

○絵カードや写真などを見ながら、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを知る。
(食事や睡眠をしっかりすることで、元気に生活できることを知る。)

○起きる時間や寝る時間について考える。時計を見ながら、
寝る時間や起きる時間などを確認し、意識する。

何時に
起きると良いか
な？

夜は何時にお布団に
入っているかな？



○食事の大切さを知る。

○栄養のバランスを考える。
・食べ物には3つの働きがあることを知る。

今日の給食の材料には
何が使われているかな？

黄 (エネルギー)
ごはん・パンなど



赤 (体をつくる)
卵・肉・魚・
牛乳など

緑 (体の調子を整える)
野菜・海藻・果物など

- 時間を気にして時計をみたり, 時間をきいてきたり, 時間のめやすを少しずつ分かってきている。
- 中には先の見通しをもって生活や遊びに取り組む幼児がいる。
- 先を見通せず, 活動の切り替えがうまくいかない幼児がいる。

- 生活の中で時計を意識することで, 遊びの計画が立てやすくなることを知ってほしい。
- 一日のスケジュールは時間毎区切られて進んでいくので, 自分から時計を意識した生活をするようになってほしい。

活動名	時計をみて生活をしよう
ねらい	◎生活の中で, めやすとなる時間に気づく。 ◎時計を見て, 行動しようとする。
◆環境構成	◆時の記念日等をきっかけにしたり, 時計にまつわる絵本を用意したりし, 時計や時間に興味がもてるようにする。 ◆針, 秒針の動きなどで時間の流れが感じられるように, アナログ時計を準備する。 ◆園の生活の流れに沿った掲示物を用意し, 時間を意識して行動できるようにしていく。
◇保育者の配慮・援助	◇時計に興味もてるよう工夫する。 ◇何時になれば何をするという, 毎日のタイムスケジュールが理解できるようにしていく。 ◇幼児が時間の流れを感じながら生活できるように, 保育中にも時計を見せながら時間を意識できるような言葉掛けをする。 ◇「本当の時計の針と手作り時計の針が同じになるまで」という意識もてるよう, 見比べながら活動できるようにする。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 2 自立心 4 道徳性・規範意識の芽生え
- 8 数量や図形, 標識や文字などへの関心・感覚

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

算数科 第1学年 C測定

- 時刻の読み方
- ア 知識及び技能 (ア) 日常生活の中で時刻を読むこと。
- イ 思考力, 判断力, 表現力等 (ア) 時刻の読み方を用いて, 時刻と日常生活を関連付けること。

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ア 基本的な生活習慣の形成
身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け, 節度ある生活にすること。

環境を生かした幼児の活動

○時間、時計に関心をもつ。

- ・年齢に合わせて興味を持てるように声をかける。
- ・意識できるように環境の整備をする。(時計の表示、予定ボードなど)
- ・針がここまで来たらと見てわかるようにシール等貼っておく。

<2, 3, 4歳児>

- ・色分けをして目安が分かるようにする



<5歳児>

- ・年齢に合わせて読み数字も表示する

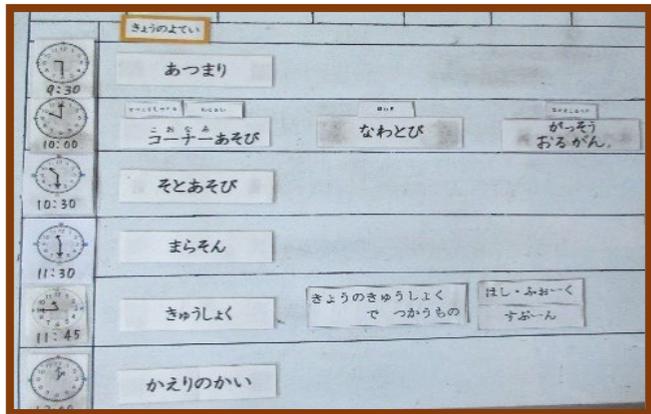


○1日は時間の流れに沿って過ぎていく事を知る。

- ・予定ボードを活用しながら、年長後半には時間を意識して生活できるようになっていけるような、関わりを目指す。

年少組予定ボード・年中組予定ボード

<年長組予定ボード>
週の予定,1日の予定を表示する。時計表示とともに活動,場所,使うものを表示することもある。見通しをもって生活することが出来る。



- 生活や遊びの中で、指先を器用に使っていたり、できない低年齢の友だちに教えたりする姿がある。
一方、あまりできない幼児は、なかなか自分から取り組まない姿が見られる。
- 遊びや生活の中で、楽しく指先を使ってほしい。
 - いろいろな経験を通して、指先を使うことに自信を持ってほしい。

活 動 名	指先を使ってみよう(折る・描く・ちぎる・つまむ・結ぶなど)
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ◎指先を使った遊びに興味をもち、楽しく取り組む。 ◎指先や手首を使い、生活に繋げてみようとする。
◆ 環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ◆継続して遊びが楽しめるよう、毎日いくつかのコーナーを設定する。 ◆繰り返し指先を使った遊びができるように、時間や場所を保障する。 ◆幼児同士で楽しめるよう、作り方や遊び方を絵や文字で表示したり、全員で同じ経験ができるような時間を設けたりする。 ◆遊びや生活に応じて材料を用意したり、テーブルやついたてなどを使用したり、集中して取り組める空間作りをする。
◇保育者の 配慮・援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇幼児の様子に合わせて遊びのコーナーを作り、遊びが発展するように見守る。 ◇幼児の思いを汲み取りながら遊びがマンネリ化しないよう内容を定期的に変えたり、幼児が興味をもって遊びを選択しながら遊べるように、遊びの場を整えたりする。 ◇幼児の挑戦意欲が増すように、個人差に合わせた選択ができるようにする。又、具体的な方法を知らせ、できた喜びや満足感を味わえるものにしていく。 ◇保育者が楽しみながら遊んで見せ、興味を引き出したり、手本となって興味を引き出す。 ◇指先や手首を使った遊びについて保育者が柔軟な発想をもち、幼児の「やってみたい」気持ちを十分に受け止めていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 1 健康な心と体 2 自立心 6 思考の芽生え
8 数量や図形標識や文字などへの関心・感覚
9 言葉による伝え合い 10 豊かな感性と表現

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

図画工作科 第1学年及び第2学年 「A表現」(2)

- ア 造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。
- イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。

環境を生かした幼児の活動

○折ってみよう(折り紙, 新聞紙)

・折り紙の本や実際に折った物を見ながら折る。

○描いてみよう(マーカー, クレパス, 色鉛筆, 絵の具など)

・好きな絵 ・経験画 ・塗り絵

○ちぎってみよう(紙, ガムテープなど)

・様々な厚さや硬さのものをちぎる。

○貼ってみよう(のり, ボンドなど)

・シール遊び ・指のり

○ふりかけをあけてみよう

○おしぼりをしぼってみよう

○編んでみよう

・指編み ・三つ編み

○結んでみよう

・りぼん ・靴ひも

絵の具あそび



ぬりえ



ふりかけの袋開け



おしぼりしぼり



三つ編み



シール貼り



- 車に乗っての移動が多いため、徒歩での交通ルールがよく分らない幼児がいる。
- 理解はしているものの、経験が少ないせいか、危険に対する認知が低い姿も見られる。
- 集団での歩行だと友だちの動きを真似てしまい、自分で確認しないまま、道路を横断するなどの行動が多い。
- 歩く経験をする中で交通ルールを守る大切さを知ってほしい。
- 歩く中で危険個所に気づいたり話し合ったりする機会をもつことで、安全な歩き方を身に付けてほしい。
- 人に頼らず自分の目で安全確認をすることに慣れてほしい。

活 動 名	交通ルールを意識しよう
ね ら い	◎交通ルールや約束が分かり、守ろうとする。 ◎道路にはどんな危険があるのかを知り、気を付けようという意識をもつ
◆ 環境構成	◆交通ルールについて、分かりやすく楽しく学べるよう絵本や模擬信号、横断歩道などを用意する。 ◆交通ルールや標識などにちなんだクイズ、ゲームなどで楽しく覚える機会を作っていく。 ◆園周辺の場所を示した地図を用意したり、交通ルールについて意識できるコースを選んだりして、実践的に学べるようにする。
◇保育者の 配慮・援助	◇交通ルールや交通安全について絵本や紙芝居、イラストなどで分かりやすく知らせる。 ◇保育者自身が手本となる行動をとるようにする。 ◇地図を見ながら、危険個所や標識・点字ブロックなどについて、知らせたり考えさせたりする。 ◇散歩や園外保育では、幼児と確認し合いながら、約束やマナー、交通ルールについて繰り返し伝えていく。 ◇交通ルールについて、友達と一緒に遊びながら、楽しく身につけられるような機会を設ける

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 4 道徳性・規範意識の芽生え
- 5 社会生活とのかかわり
- 6 思考力の芽生え
- 9 言葉による伝え合い
- 8 数量や図形、標識や文字などの関心・感覚

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

特別活動 学級活動(2)

- 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

生活科

- 学校、家庭及び地域の生活に関する内容(1)
学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

特別活動 学校行事(3) 健康安全・体育的行事

環境を生かした幼児の活動

○交通安全教室に参加する。

◦交通ルールや道路を歩く時の約束を知る。

- ・道路での歩き方
- ・信号の見方
- ・横断歩道の渡り方
- ・標識の意味を知る。

交通ルールを
守ろうね！



○交通ルールや交通安全をテーマにした 絵本や紙芝居を見る。

○園周辺の地図を見て、道路や信号機等のイメージをもつ。

○園外保育や散歩に行く前、に交通ルールについて考える。



右見て
左見て
もう一回右見て

○園外保育や散歩に行き、確認して歩く。

道路は、端を
歩こうね！



○歩く時の約束やマナー、交通ルールをみんなで 話し合う。

○交通ルールクイズやゲームをする。